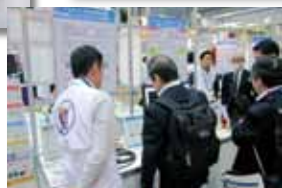


謹賀新年

平成25年、
都産技研は、中小企業の皆さまとともに歩み、東京都の産業の発展と
都民生活の向上に技術の力で貢献します。



contents

謹賀新年 2
理事長挨拶 3

■ 特集—都産技研ブランド試験 1

音響試験 4

技術解説 大電力パルスマグネトロンスパッタリング(HiPIMS) 6

シリーズ第3回 産学公連携 コーディネータに聞く 7

設備紹介 レーザー干渉計 8

■ REPORT 2012年秋の展示会・イベント

サイエンスアゴラ2012 9
第15回産業交流展2012

多摩テクノ広場 10

インフォメーション 11

トピックス 12

表紙の写真 No.4 音響試験

都産技研の音響試験では、音環境の質的向上を目指し、音響関連機器の開発や音響分析、心理や感性を考慮した騒音分析、建築材料等の遮音・吸音測定を行い、音に関する高品質な技術支援を行っています。写真は室内全面が特殊な吸音材で覆われた「無響室」。パソコンやプリンタ、掃除機などから出る騒音などを測定しています。



新たな価値を 創出する さらなる飛躍の年に

理事長
片岡 正俊



新年あけましておめでとうございます。

都産技研は一昨年10月に臨海副都心に本部が開業し、昨年は本部、多摩テクノプラザ、城東支所、墨田支所、城南支所の5拠点体制を確立して、中小企業への技術支援サービスの拡充に努めました。その結果、平成24年度上半期の実績として、主要事業である技術相談は60千件、依頼試験は65千件、機器利用は46千件のご利用をいただきました。また、震災復興支援事業も継続し、放射線測定、省エネ節電技術支援、さらには被災企業への料金減免など、多くの中小企業にご活用いただいております。あらためまして御礼申し上げます。

さて、都産技研は平成23年度開始の第2期中期計画に沿って、自らの技術、製品で市場に打って出るいわゆる開発型の中小企業支援に力を入れております。中小企業とはいえ自ら市場ニーズを把握し、売れる製品開発、プロダクトイノベーションを進めていかなければなりません。

都産技研ではそうした企業を支援するため、次のとおりの活動を展開しております。

1. 海外進出支援サービスの開始

中小企業が自らの製品を海外でビジネス展開する際に必要となる国際規格、海外規格への適合性に関する情報提供、専門相談、適合性試験等を行う「広域首都圏輸出製品技術支援センター」を昨年10月に設立いたしました。東京、埼玉、千葉、神奈川、長野の1都4県で共同運営することで、より多くの規格に対応し、企業の海外進出を積極的に支援してまいります。

2. プロダクトイノベーション支援の強化

開発型中小企業に必要な機能を集約した3つのセクターがよく利用されております。平成24年度上半期で合計39千件のご利用をいただきました。最先端のテクノロジーを支援する「高度分析開発セクター」、売れるものづくりをデザイン面から

支援する「システムデザインセクター」、高信頼性製品の開発支援を行う「実証試験セクター」のさらなる活用をお願いいたします。

3. ブランド試験の充実

他県公設試ではあまり行われていない都産技研ならではの試験をブランド試験と呼び、「音響」、「照明」、「高電圧」、「非破壊透視」、「ガラス技術」の従来5分野に、「環境防カビ」、「放射線」の2ブランド試験を追加いたしました。こうしたブランド試験を新たに活用して、高付加価値の製品開発支援を進めてまいります。

低迷する日本経済、長引く不況に打ち克つていくためには、まず中小企業が元気にならなければなりません。都産技研のさらなる活用をお願いするとともに、この平成25年が皆さまの飛躍の年になりますことを祈念しまして、新年の挨拶いたします。